

令和七年度 福島県立安積黎明高等学校入学式 校長式辞

学校の桜が花開き、花かつみも姿を現して、暖かい春の訪れを感じさせるこの佳き日に、ご来賓の皆様と保護者の方々のご臨席を賜り、令和七年度の入学式を挙げていただけますことは、真に喜ばしい限りであり、皆様に深く感謝申し上げます。

ただ今呼名された二百八十名の新入生諸君、入学おめでとう。ようこそ安積黎明へ。君たちの入学を祝福しますとともに、本日まで、たくさんの愛情を注ぎお子様を育ててこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

さて、君たちが入学した安積黎明高校は、明治四五年に安積郡立学校として設立し、大正九年に県立高等女学校、昭和二十三年に安積女子高校と時代とともに変化しながら、平成十三年に現在の男女共学校となり、これまで三万二千人以上の卒業生を輩出してきた歴史と伝統のある進学校です。新しい時代を生き抜く豊かな知性を育む（Intellect）、共生社会に生きる共感と思いやりの心情を養う（Compassion）、未来を拓く進取の精神を培う（Challenge）を教育目標に掲げ、質の高い授業ときめ細かな指導、保健・医療、教育コースや探究活動、二十五の活発な部活動と特色ある学校行事などの教育内容に加え、十一年前に建てられた新しい校舎など施設設備も充実しています。黎明高校第二十五期生となる君たちには、この恵まれた環境の中で、優しく目的意識の高い先輩たちと経験豊富で優秀な教職員とともに、充実した高校生活を送ってほしいと思っています。

今年度、安積黎明高校では、「黎明の本気の挑戦」と題して、次の三点を重点目標に掲げました。

- 一つ、「すべての生徒の進路希望の実現」
- 二つ、「思いやりと活力ある学校づくり」
- 三つ、「生徒一人一人が輝く教育の推進」です。

これらは学校としての目標ですが、生徒に期待したいことを話します。

まず、進路希望の実現について、君たちには、三年間の高校生活の中で様々なことにチャレンジし、たくさんの成功と失敗の経験を通して自分自身を理解し、自分の良さや強みに気づき、それらを社会でどう生かすか、将来の生業や進路を見出してほしい。そして自分の力を高めるために、武道の修行で大切にされる「守・破・離」の精神で努力を続けてもらいたい。高校の学びを豊かにするには、授業の予習や復習・課題を通して学習習慣をつくり、学んだ基礎・基本をもとに発展的な内容に積極的に取り組み、身に付けた知識・技能を生かして正解のない問いや経験したことのない課題に挑む。決して受け身になることなく、自ら学ぶ姿勢を大事にして、生涯に渡る進路希望を実現してほしいと願っています。

次に、思いやりと活力について、君たちには、高校生活の中で仲間と切磋琢磨し、互いに良さを認め合いながら自分の強みを発揮して、学校を活気付けてほしい。そして、本校の校訓である真心による思いやり、「恕」の精神を大切にしながら高校生活を謳歌してもらいたい。私の座右の銘ですが、中国の思想家 孔子の言葉を集めた論語の中に、「人の己を知らざるを憂うべからず、己の人を知らざるを憂うべし」という言葉があります。周

困が自分を理解してくれないことを悲しむよりも、自分が他人を理解できないことを悲しむべきだという意味です。人にはそれぞれ良さがあり、元気良く外見上に現れる場合があれば、内に秘めていることもあります。自己中心的な考えから一歩引いて、他人への思いやりを大事にしながら自分の良さを生かして、活躍してほしいと願っています。

そして、生徒が輝く教育について、私たち教職員は、一人一人に寄り添いながら精一杯サポートし、生徒が安心して学ぶことができるよう全力で取り組んでいく覚悟です。その上で君たちには、自分で限界と決めつけずに＋アルファの挑戦を続けてほしい。人は誰でも失敗を避けて生きようとしますが、失敗は成功のもと、とも言われます。高校三年間で大きく成長するために、「トライ・アンド・エラー」の精神を大切にしてもらいたい。これは、挑戦して失敗に終わるのではなく、チャレンジしてエラーを修正し大きな成功を掴み取るという意味で、自分を成長させる上でも大事なことです。高校時代の失敗は挽回できます。是非、この恵まれた環境の中で興味・関心のあることに勇気を持って挑戦し、キラキラと輝いてほしいと願っています。

今日から君たちは安積黎明の一員です。この地には、安積疎水によって発展してきた歴史があり、先人たちの開拓者精神が息づいています。そして、黎明という言葉には、新しい時代の始まりという意味があります。高校生活のスタートに当たり、一人一人が高校生としての決意を固め、志を持って様々なことに挑戦し、本校に新たな歴史や伝統を築いてください。時には悩み苦しいこともあるでしょう。その時は、家族はもちろん新しい仲間や本校の教職員に相談してもらいたい。きっと困難を乗り越えるヒントが見つかったり、心が楽になったりすると思います。青春時代の苦悩は、若者の成長に欠かすことのできない大切な経験なので、しっかりと向き合って、子どもから大人へ、与えられる側から与える側へと変わってほしいと願っています。君たちの成長と活躍を大いに期待しています。

保護者の皆様申し上げます。これまでのご労苦と本日の喜びは如何ばかりかと拝察いたします。皆様にとってかけがえのない存在であるお子様の教育に、私たち教職員一同、如何なる時も誠意を持って、真摯に取り組んでまいります。家庭と学校とが両輪となり、互いに協力し合うことで、お子様の教育に相乗効果が生まれてくると考えておりますので、心配事があれば遠慮なく担任を通してご連絡くださるよう、お願いいたします。

そして、新入生諸君、今日から始まる高校生活に対して、ご家族の方も君たちと同じくらいに不安を感じ、心配していると思います。余計な心配をさせないためには、何も言わずに大丈夫とするのではなく、学校生活の様子や学校からの連絡などを言葉で丁寧に伝えて、安心させてください。それが、高等学校に通学させてもらう生徒としての責任です。

以上、新入生全員を歓迎しますとともに、一人一人の高校生活が充実していくことを心から願い、式辞といたします。

令和七年四月八日